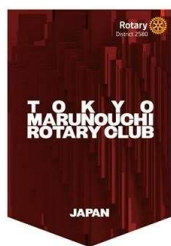


東京丸の内ロータリークラブ

2021年1月6日 第67回 例会議事録



「笑おう---好奇心と実践---」
Laughter
-through Curiosity and Participation-

2020-21 年度 クラブ会長
嘉納英樹 Thurgood Kanoh



Club of Tokyo Marunouchi

T O K Y O
MARUNOUCHI
ROTARY CLUB

“Rotary Opens Opportunities”

2020-21 国際ロータリー会長

ホルガー・クナーク

「ロータリーは機会の扉を開く」

2020-21 第 2580 地区ガバナー 野生司義光



【式次第および議事録】

1. 司会進行 今井 菜美子 幹事
2. 開会点鐘 嘉納 英樹 会長
3. 四つのテスト 高木 元太 会員
4. ゲスト・ビジター紹介 寿原 裕美子 会員

・alakai 九星気学カウンセラー

高橋 由珠 様

・東京北ロータリークラブ

山崎 克雄 様

・上海虹橋ロータリークラブ

林 淑慈 様

5. ニコニコ報告 鷺澤 充代 会計

①嘉納 英樹 会長

②鷺澤 充代 会計

③古山真紀子会長エレクト

④玉木 仁 直前専任副会長

6. 会長報告 嘉納 英樹 会長

7. 幹事報告 今井 菜美子 幹事

・理事会報告

8. 出席報告 古山真紀子会長エレクト

・出席者:9名、欠席:1名

・出席率:90%

9. 卓話 【右参照】

10. 今後の予定 尾崎由比子 直前会長

11. 閉会点鐘 嘉納 英樹 会長

【卓話】

alakai 九星気学カウンセラー

高橋 由珠 様

『2021 年の運気を
九星気学から読み解く』

(以下、高橋様)

本日はよろしくお願いいたします。本来でしたらそちらの場に伺いたかったのですが、私ごとでリモートにて、「2021 年の運気」ということで、お話をさせていただきます。2020 年、明けたけれども、2021 年 2 月 4 日からが新年となります。ですから、まだ 2020 年の気の中に私たちはおります。2020 年はなんと言ってもコロナで始まり、コロナで終わり、本当に想像がつかない大変な年だったと思います。2019 年末から、中国の武漢より、コロナが発生しまして、それがあつという間に地球上、世界に広がりました。それが衰えることなく、まだまだ広がっている現状です。本当につらい、100 年に 1 回と言われる、つらい 1 年だったと思います。この 2020 年の運気を司っていたのが、七赤金星という星でした。その七赤金星、みなさん全員に影響があります。七赤金星というのは本来でしたら、喜びの星と言われている星です。、コロナがなければ、オリンピックがあり、本当に日本中が歓喜に湧いて、みんなで楽しい 1 年だったかと思います。もう 1 つ、七赤金星というのは体の中で言いますと、肺というショウイがありまして、肺に疾患が出るという年でもあります。それを踏まえた時に 100 年前のスペイン風邪の時がまさしく、七赤金星が中級の時でした。ですから、繰り返してしまつたと、今回改めて思った次第です。

年が変わりまして、2021 年になりました。今年は六白金星という星が真ん中に来ます。その星が全体に影響を与える年になります。通常、九星気学の鑑定をする時に、この 9 つの星で鑑定させていただいております。生年月日によって、9 つありますから、一白水星から、九紫火星までの 9 つの星のそれぞれのその年の運勢ですとか、あとはもともと持っている性質ですとか、そういったものを鑑定させていただくのですが。今日は全体の 2021 年の運気ということで、天の気と地の気、人の気、この 3 つを少しお話させていただきたいなと思います。

まず、六白金星は、金の星です。したがって去年に引き続き、金の星になります。そして、2021 年の天の気はカノトになります。カノトというのは辛いという字ですよ。これは鋭い刃物で刺し、斧で切り落とすことを表す、象形文字になっています。木を斧で切り倒して、新たなものを作ることから、辛は余分

なものを切り落とされて、物事は新たなところへ進むことを意味しています。つまり、2021 年は革新、進めていくということが1つのキーワードになるのではないかと思います。ただ、この字の如く、辛さや厳しさという意味もありますので、様々な圧力、矛盾を感じ、波乱に飛んだ、大変な1年になるということでは、気学で読み解いても、読んで見ていけます。また、矛盾をはねのけて上に向かっていく、ですから現状維持するのではなくて、現状を打破する。革新を進めるということを進めていただきたいなと思います。ただ、なかなかスムーズにはいかないのではないかと、辛さをどのようにみなさんが切り拓いていくか、そして新しいものを作っていくかということが、みなさんにとってもキーワードになるかと思っています。

そして、地の気です。今年は丑年です。十二支のことを地の気と言います。地の気は丑年。気学ではモーモーの牛のことを言いません。始めるや掴むという意味を表しています。赤ちゃんが産まれたばかりで、初めて肘を伸ばして、ものを掴む。これは簡単ではないということを表しています。2021 年は物事が新しく始まる。何かを掴み取ろうとする作用が動いてきます。ただ、伸び悩む。なかなか上手く掴み取れない。ということで、そういった事態が起こってきます。なかなか試行錯誤が必要だということですね。その中で、新しい芽が出てくる。古い殻を脱ぎ捨てて、新たな時代へと進んでいく。そこにはやはりこれも、非常に苦勞を伴う。天の気が辛と辛いという字を使っています。何かを作っている。斧で切って、新しい形を作っている。これもなかなか大変な作業になります。そして、牛。これははじめですね。全く何もしていない子どもがものを掴み取る。なかなか掴み取れないですよ。試行錯誤しながら、ものを掴み取っていく。ですから、これも本当に大変な作業になる。そこにはいろいろな工夫、試行錯誤しながら、何かを掴む。繰り返して何かをやっていくことで、古いものを脱ぎ捨てて、新しいものが生まれてくる。ですから、これから企業ですとか、会社の中、生活の中ということも、今年は本当に大変な、コロナに引き続き大変な年になるということが、頭の中にあります。気学から見ても、六白金星が中級で天の金というのが辛、辛いです。地の気というのがこのように何かを始めていく、初めてものを掴み取るということで、つらさを伴った 2021 年になると思います。

人の気というのがあります。これは九星気学で鑑定をする時に、みなさん1番耳にする言葉かと思いますが。生年月日によってそれぞれの星が決まってくるのですが、1番みなさんに馴染みが深い、人の気ですね。これが今年はこの六白金星という星になります。六白金星という星が真ん中にきます。ですから、六白金星の影響が今年は出てきます。これはみなさんに影響が、出て参ります。六白金星はどういった意味合いがあるのかと言うと、まず、金の星ですから、金運ですね。お金にまつわること。そして、去年も七赤金星で、金運でしたが、今年もやはり六白金星ですので、経済と金融に関わり年になります。そしてもう1つ、政治主導や経済対策です。行政というような意味合いもありますので、今年は政治や経済が大きく変わるとは思います。また、六白金星というのは企業の中でも一流企業だったりとか、例えば銀行でもメガバンクだったりとか、飛行機会社でも、例えば JAL ですとか、ANA ですとか、そういったような大きな企業を表す総意でもあります。したがって、このような企業は影響のある年になると想像しております。六白金星の中級ということですので、経済的にどのように変わっていくか。また、経済のみならず、今年は政治の影響力も非常に大きい年になりますので、菅さんが昨年、総理大臣になりましたけども、菅さんの手腕というの、非常に問われるのではないかと思います。

ちなみに、安倍晋三さんが一白水星という星ですけども、去年大きな変化の年でした。その変化というのは自分の意思ではない、何か見えない変化が起こるという年でした。その時に、体調不良によって、辞任されました。このように政治経済、人の流れ、運氣というのを九星気学の中では見ていきます。

次に、それぞれの星がどういった影響があるのかということ、簡単にお話しします。表を書きましたが、星が9つあります。一から九までの星があります。それぞれどこにいて、どのような影響があるかということ、を少しだけお話しさせていただきます。そして、これは生年月日で分かりますので、まず自分が生年月日で検索していただけますと、自分が何年生まれかということで、分かってきます。これは本命星だけです。で、主な運勢になります。それにプラスして、月名があったりですとか、ドウカイというご縁の星があったりとか、ゲイシャと言って、潜在能力、隠れた才能なんかが分かる星もあるのですが、これは生年月日全部を合わせて見た時に分かるものです。簡単にご自分で検索して、自分は何の星かということが分かりますので、それが分かりましたら、自分は今、今年はどうなところにいるのかなというところを見ていただけるかなと思います。

【一白水星】これは先程言った安倍晋三さんです。真南にいます。一白水星というのはもとと北の真下、北の星ですが、今年は真南にいます。真南におりますので、一白水星の方たちは目立ったり、注目されたり、そんなような年になります。そして、目立つということは隠れていたものも、明らかになります。例えば会社で二重帳簿をつけていた、不倫、そういった行為が発覚してしまうとか。いいことも注目されますが、目立ちますので、隠れていたものも明らかになります。今のうちに精算しておいてください。一白の方、運勢は星3つ半。悪くはありません。ただ、様々なことで注目されます。良くも悪くも注目されますので、気をつけていただきたいなと思います。

【二黒土星】北になります。先程の落ちた南、今度は北になりますね。北というのは、カンニユウと言いまして、少し穴に落ちるという意味があります。これは悪いことだけではないのですが、9年に一度、少し運氣が下がる時でもあります。あまりこの時は表に出られない、ものを育てても、企業とか芽が出てこないという時になります。また、体を壊しやすい時期です。この時はどういったことをしていただきたいかと言うと、芽を刈る時期です。9年に1回、カンニユウで少し落ちますけれども、その先の運氣というのが上がってきますので、それに備えて自分の芽を刈る。ですから、勉強するのにはものすごく良い年になります。これからやりたいことをじっくり考えて、勉強していく。大きな芽を刈っていく、大事な年になります。この時に船出をしても沈没しますので、それは芽を刈ることを考えてください。あまり大きく動いてはいけません。ちなみに、習近平さんが二黒土星になります。なかなか今年は思うようにいかず、大変ではないかと私は思っています。

【三碧木星】南西に位置しています。やっと去年のカンニユウから抜けまして、やっと大地の上に来ました。二黒土星という畑の上に来ています。大地の上に来ると、やっといういろいろなものを種植えができます。いろいろなことで種蒔きをしていただきたい。一生懸命、カンニユウの時に勉強したこと。あれもやりたい、これもやりたい、いろいろなことがあると思うのですが、それをやっとなんて種を蒔ける時に来しました。準備ができました。ですから、やりたいことがありましたら、種を蒔いていく。この時にあの種蒔かない、この種蒔かないではなくて、思いついたことをどんどん実行に移して、種を蒔いていただきたいと思います。いろいろな差別をせずに興味のあること、やりたいことがありましたら、この時にしっかり種蒔きをしてください。いづれ芽が出てきます。また、我慢の年でもあります。種を蒔いても、なぜかと言うと、すぐ芽が出ません。芽が出るのは来年になります。ですから、しっかり種を蒔いていただきたいという年になります。ただ、運氣は良いですから、しっかりいろいろな種を蒔いてください。ここから、5年間は幸運期に入っていきます。

【四緑木星】真東にあります。東というのは、太陽が1番最初に昇る位置になります。ですから、東から太陽が昇り、陽がさんさんと、日が差してきます。この時というのは、いろいろなものが見えてきますよ。まだ形は見えないけれども、音はしてきます。朝焼けです。したがって、今進めということです。今年

はどんどん進んでください。前に進む年になります。そして、三碧の上にいる時というのは、いろいろな話が来ます。いろいろなお仕事の話、プライベート、いろいろな話が来て、非常に騒がしい年です。ここではいろいろな話を受けてください。ものすごく忙しくなります。その中で必ず残ってくるものがあります。10 個話があつて、3 つ残ればいいと思って、いろいろなことを進めてください。必ずここから 10 年間に渡って残ることができます。忙しさを楽しんでいただきたいと思います。

【五黄土星】南東の位置です。この位置はこの 9 つの星の中で、南東の位置にあり、非常に縁起が良いとも言われています。ここは 9 年の中で、最も運勢が強い。この時は整うという総意にいますから、今までなかなか上手くいかなかったこと、そういったことで人のことだったり、ものだったり、お金だったり、全てのことがこの年に整ってきます。やりたいことがある時、人が足りない、資金が足りない、場所が足りない。そして、運気が良い時というのは選択を誤りませんので、自分を信じて前に進んでください。大きな幸を広げて、追い風をしっかりと受けて前進していただきたいなと思います。それが 2021 年の五黄土星ですね。

【六白金星】真ん中にいます。ただ、なかなか思うようにいかない、周りに助けられたなと感ずること。また、周りに足を引っ張られたなと感ずることがあります。所謂、周りに囲まれていますので、八方塞がりというふうに感ずる方もたくさんいます。このところで何を問われるかと言うと、その方の器量、度量です。何もしなくても周りが動いてくれるのか。周りから足を引っ張られるのか。これが真ん中にいる時、必ず問われます。そして、自分自身が大きく成長する良い時でもあります。また、真ん中にいますから、周りが見えます。しっかりと周りを見極めて、人を動かす。このような 1 年になります。

【七赤金星】菅さんの年です。六白金星の上におりますが、暗剣殺というのがかかっています。運勢はものすごく強いです。六白金星の上にいるということは、奉仕活動だったり、ボランティアだったり、あとは六白金星というのがもともとボランティアというような人のために何かをするというような奉仕の精神を持った星になります。たとえば、菅さんですが、いかに国民のためにできるかということを問われる 1 年だと思います。人のために働く。人のために何かをするということをしていくことで、価値が上がり、みんなに認めてもらえるという年になります。

【八白土星】真西にあります。もともと七赤金星の位置です。真西に行つて、八白土星は、喜びの星が今年上にいます。今までの働き方だったりとか、そういったこととはちよつと違つて、少し趣味を楽しんだり、今までやっていたことで何かを人に渡したり、卒業という総意がありますので、そんなようなことが起こるかもしれません。何か手放す、継承する。例えば、会社をやっていたら、息子に継ぐ、何かを卒業し、新たなことを始めるなど、とにかく楽しい 1 年にしてください。楽しい中でご縁が生まれてきます。

【九紫火星】もともと八白土星の上にあります。今年大きな変化があります。変化、変革ですね。例えば、転勤や何か大きな変化。それも自分の意思ではなく、大きな変化が訪れる時になります。ここに去年、安倍晋三さんがいました。非常に大きな変化でした。この時訪れた変化は乗ってください。嫌がらずに、変化に乗るんだという気持ちでいていただきたいなと思います。

一応、9 つの星についてお話しましたが、自分の生年月日を見て、どうか確認させていただきたいと思います。以上で、本日の卓話を終了します。本日はありがとうございました。